

一年の動き

2018年 4月 新入職員16名の入庫式を行いました。
 2018年 5月 「山口県しんきん合同ビジネスフェア2018」を県内の信用金庫合同で開催致しました。
 2018年 6月 「信用金庫の日」地域貢献活動の一環として、職員による献血活動を実施致しました。
 2018年 6月 サマーキャンペーン「とうしんサマー定期預金」の募集を行いました。
 2018年12月 ウィンターキャンペーン「薩長土肥連携定期預金」の募集を行いました。
 2018年12月 定期積金「ときめき」定期預金「きらめき」の取扱いを開始しました。
 2019年 1月 「後見支援預金」の取扱いを開始しました。

沿革

1991年 4月 柳井信用金庫（1950年5月設立）、徳山信用金庫（1918年6月設立）、下松信用金庫（1948年12月設立）の3信用金庫が合併により新生「東山口信用金庫」として発足。
 1992年 4月 徳山支店、下松支店が日本銀行蔵入代理店の承認を受ける。
 1992年 8月 平生支店新築（同一場所）オープン。
 1992年12月 預積金残高1,000億円達成。
 1993年11月 室積支店新築（同一場所）オープン。
 1995年 1月 富田支店、福川支店、光支店が日本銀行蔵入代理店の承認を受ける。
 1995年 4月 ATM祝日稼働開始。
 1996年 1月 月丘町支店、栄町支店が日本銀行蔵入代理店の承認を受ける。
 1996年 9月 預積金残高1,100億円達成。
 1996年12月 遠石支店、徳山北支店が日本銀行蔵入代理店の承認を受け、全店指定となる。
 1997年 2月 徳山支店ほか8店舗が西日本建設業保証（株）の受託業務取扱店の承認をうけ、全店指定となる。
 1997年 5月 パルティ・フジ出張所（ATM）開店。
 1997年11月 ロックショッピングタウン平生出張所（ATM）開店。
 1998年 1月 下松支店新築（同一場所）オープン。
 1998年 4月 堀本忠男理事長就任、三島前理事長相談役就任。
 1998年 8月 本部にLANシステム導入。
 1998年10月 サンリブ下松出張所（ATM）開店。
 1999年 3月 郵貯ATMとの相互接続取扱開始。
 1999年 4月 ハイパーモールメルクス柳井出張所（ATM）開店。
 2000年12月 全国のしんきんATM平日、土曜日（～14:00）のご利用手数料無料の「しんきんZERO（ゼロ）ネットサービス」を開始する。
 2001年 4月 設立10周年を迎える。
 2001年 7月 朝日監査法人（現、有限責任 あずさ監査法人）と監査契約を締結する。
 2001年10月 山口県下10金庫と山口銀行がATM平日、土曜日（～14:00）ご利用手数料無料「YS.ネットサービス」を開始する。
 2003年 4月 個人向けインターネットバンキングの取扱いを開始。
 2003年 6月 個人向け国債の募集の取扱いを開始。
 2003年 7月 IYバンク銀行とATMの提携を開始する。
 2003年 9月 マックスバリュ田布施出張所（ATM）開店。
 2004年 1月 法人向けインターネットバンキングの取扱いを開始。
 2006年 3月 <とうしん経営塾>（柳井地区）を発足。
 2007年 3月 由宇支店新築（同一場所）オープン。
 2009年 4月 柳井南支店開設。
 2010年 6月 児玉正史 理事長就任、堀本前理事長非常勤相談役就任。
 2011年 4月 設立20周年を迎える。
 2012年11月 防府信用金庫との対等合併により、新生「東山口信用金庫」として新たにスタート。
 2012年11月 嶋本博 理事長就任。
 2014年11月 宮市支店新築（同一場所）オープン。
 2015年 1月 周南支店（旧橋本町支店）移転オープン。
 2015年 3月 光支店新築移転オープン。
 2015年 5月 嶋本理事長 旭日双光章受章。
 2016年 2月 山口県と「地方創生に係る包括連携協定」を締結。
 2016年 3月 薩摩、長州、土佐、肥後にゆかりのある金融機関と共同で「薩長土肥包括連携協定」を締結。
 2016年 7月 下松支店移転オープン。
 2016年 7月 柳井市と「地方創生に係る包括連携協定」締結。
 2017年 8月 当金庫営業地区を山口県山口市（旧阿武郡阿東町を含まない）、防府市、周南市、下松市、光市、柳井市、岩国市及び熊毛郡、大島郡、玖珂郡から、山口県全域に変更。
 2018年 6月 山口県信用保証協会と包括連携協定に関する覚書を締結。
 2018年10月 本支店、他金融機関宛て即時振込の取扱時間の拡大（モアタイム）開始。
 2018年12月 （株）Origamiとの提携によるスマホ決済サービスOrigami Payの提供を開始。
 2019年 6月 松原正雄 理事長就任、嶋本前理事長 非常勤理事相談役就任。

事業概況

当金庫はコンプライアンスとリスク管理を重視した業務運営を基本として、地域の皆様方との絆を深め、信頼・信用・期待に応えられる金融機関として、預金・貸出金の増強を図り、収益力の強化に取り組んで参ります。

●預 金

2018年度は、流動性預金は期首から45億円増加したものの、定期性預金においてはマイナス金利政策の長期化による影響等から、過去の合併記念定期預金等が一部流出し、全体では期首比13億円減少して2,065億円となりました。

●貸出金

営業地域内の中小企業への融資や個人向け融資に積極的に取り組みましたが、約定外の償還や不良債権処理等により89百万円減少し922億円となりました。

●有価証券

新規投資においては安全性を重視し、国債、地方債、社債等債券を主体として購入・引受を行いました。一方、満期償還や、金利低下局面で債券の売却を実施した結果、期末残高は前期比9億円増加し719億円となりました。

●損 益

金融機関の本来業務での収益力を示す業務純益は346百万円となり、長期金利の低下による貸出金利息収入の減少等があったものの、経常利益341百万円を計上することができました。この結果、税引前当期純利益は319百万円となり、住民税等を考慮した結果317百万円の当期純利益となりました。

●出資金及び会員数

出資金の期末残高は777百万円となりました。また、会員数は20,671名となりました。

最近5年間の主要な経営指標の推移

	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
経 常 収 益	3,643,603	千円	3,531,976		3,324,261		3,322,631		3,174,381	
経 常 利 益 (又は経常損失(△))	360,653	千円	263,940		283,481		300,361		341,905	
当 期 純 利 益 (又は当期純損失(△))	333,941	千円	239,472		282,254		280,428		317,652	
出 資 総 額	805	百万円	799		793		784		777	
出 資 総 口 数	1,610	千口	1,599		1,587		1,568		1,554	
純 資 産 額	8,675	百万円	9,107		9,246		9,221		9,846	
総 資 産 額	219,192	百万円	221,299		217,994		219,639		218,997	
預 金 積 金 残 高	207,100	百万円	209,092		205,954		207,875		206,540	
貸 出 金 残 高	90,677	百万円	91,000		91,393		92,351		92,261	
有 価 証 券 残 高	55,970	百万円	58,646		66,245		70,924		71,909	
単 体 自 己 資 本 比 率	10.69	%	10.47		10.50		10.62		10.75	
出 資 に 対 す る 配 当 金 (出 資 1 口 当 た り)	20	円	20		10		10		10	
役 員 数	15	人	15		13		13		13	
うち常勤役員数	9	人	9		7		7		8	
職 員 数	262	人	259		249		249		246	
会 員 数	21,353	人	21,176		21,037		20,851		20,671	